睡眠時無呼吸検査(簡易型)

SpO2 センサーにて気流の停止、減弱に伴う酸素飽和濃度の変動、脈拍を測定しています。ロ鼻カニューラにて、無呼吸、低呼吸、いびきの検出をしています。 気流の解析結果と SpO2 解析結果がともに得られることにより総合的に判定されます。



SpO2センサー装着

- 1. 指に装着する前に酒精綿にてきれいに汚れを取って下さい。
- 2. 装着する指はいずれでも良いのですが、なるべく一番フィットする指に お願いします。
- SpO2 は 95%以上になっていることを確認して下さい。
 95%以下の場合は装着不良です。

(普段から低い方は普段の値になるようにお願いします。)

- 4. 指に装着しましたら、絆創膏でしっかりと固定して下さい。
- 5. 夜中に外れていることに気づきましたら、どの指でも良いので、再装着して下さい。

機械の電源はそのままで大丈夫です。ON/OFF はしないで下さい。

口鼻カニューラの装着



- 1. カニューラ装着前に絆創膏を張る部位を酒精綿で拭き、皮脂を取って下さい。
- 2. カニューラ装着後に絆創膏を6箇所貼り、固定して下さい。
- 3. 固定箇所は、左右の小鼻の側、頬、首です。
- 4. チューブが浮かないように、特に小鼻の側はしっかり固定して下さい。

その他

夜中に SpO2 センサー、口鼻カニューラの外れを認めた時は、再装着をお願いします。その場合、機械の電源はそのままでお願いします。ON/OFF はしないで下さい。

また酒性綿での過敏症のある方は非アルコール性の清拭綿を準備しますのでお申し出ください。



PSG 検査

PSG 検査は、夜間一泊して行なう検査です。 睡眠中の呼吸の状態、覚醒の判定 と睡眠の深さ、血液中の酸素飽和度、心電図、 いびきの有無を測定するため、 たくさんの電極やセンサーをつけて眠っていただきますが、痛みを伴う検査で はありません。

たくさんの電極やセンサーを装着して寝てもらいますが、夜間トイレに行ける よう、寝返りを打てるよう、動けるように装着しています。